

10 県内高速道路ネットワークの早期整備について

《提案・要望の内容》

我が国経済を再生し、安全安心社会を実現するためには、インフラ整備による成長基盤の強化が不可欠であることから、ミッシングリンクが依然として存在する本県高速道路ネットワークの1日も早い連結を図ること。
また、それを実施するために必要な道路予算の総額を確保すること。

○平成24年度供用予定箇所の確実な供用

『鳥取自動車道』の大原IC～西粟倉IC間について、公表された供用予定時期である平成24年度までに確実に供用させること。

○平成25年度供用予定箇所の確実な供用

以下の箇所について、公表された供用予定時期である平成25年度までに確実に供用させること。

「駈馳山バイパス」----- 『鳥取豊岡宮津自動車道』
「鳥取西道路（鳥取IC～鳥取空港IC）」 } 『山陰道』
「中山・名和道路」、「名和・淀江道路」

○「山陰道」の平成20年代の県内全線供用

本県の悲願である『山陰道』の平成20年代の県内全線供用を実現するため、「鳥取西道路」については、引き続き、集中的・計画的な埋蔵文化財調査が実施できるよう、重点的な予算配分を行うとともに、鳥取空港IC～青谷IC間の一体的な供用を目指し、用地買収や埋蔵文化財調査が完了した区間においては、速やかに工事着手すること。

また、「北条道路」についても早期に事業を再開すること。

○『米子自動車道』及び「米子道路」の4車線化

暫定2車線で供用中の『米子自動車道』及び「米子道路」の定時性・安全性の向上を図るため、早期に4車線化を行うこと。

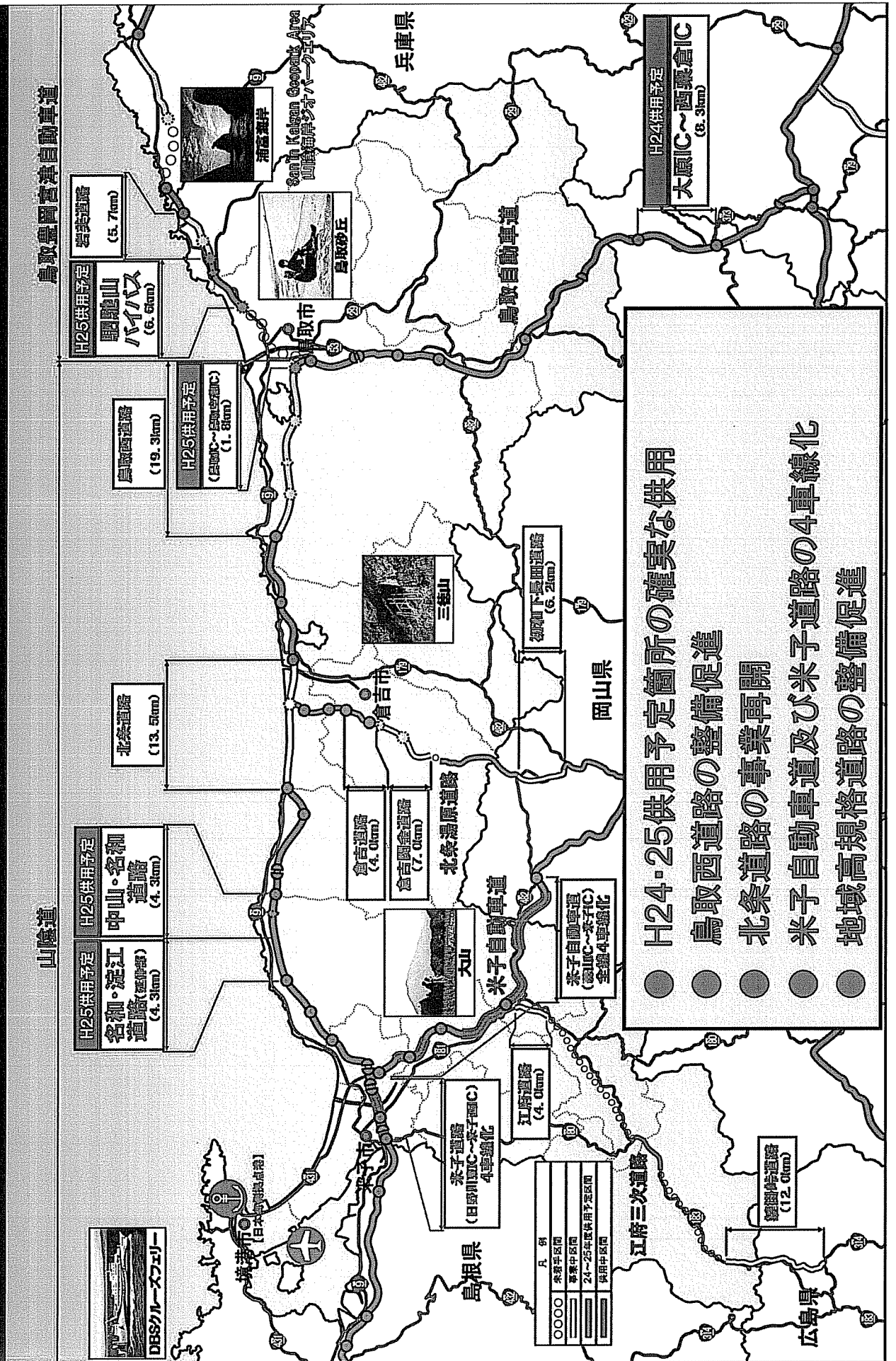
○地域高規格道路の整備促進

高速道路ネットワークを補完する地域高規格道路の1日も早い供用を図るため、重点的な予算配分を行うこと。

「岩美道路」----- 『鳥取豊岡宮津自動車道』
「倉吉道路」、「倉吉関金道路」----- 『北条湯原道路』
「鍵掛峠道路」、「江府道路」----- 『江府三次道路』

要望

県内高速道路ネットワークの1日も早い連結を!



11 日本海側拠点港「境港」の重点整備及び「国際フェリー・国際RORO船」機能に係る日本海側拠点港への追加選定について

《提案・要望の内容》

日本海側拠点港「境港」の機能強化のため、

○中野地区 国際物流ターミナル整備事業〔直轄事業〕を重点的に実施すること。

【『原木』の日本海側拠点港の計画実現に必要な機能強化】

目的：原木輸送船の大型化やリサイクル貨物増加に対応する岸壁の整備

○竹内南地区 複合一貫輸送に対応した貨客船ターミナル整備事業〔直轄事業〕を新規採択すること。

【『外航クルーズ』の日本海側拠点港の計画実現に必要な機能強化】

目的：我が国唯一の環日本海定期貨客船や外航クルーズ客船に対応し、かつ国内物流ネットワークの拠点として機能する岸壁の整備

○『国際フェリー・国際RORO船』の日本海側拠点港に追加選定すること。

<参考>

- ・日本海側拠点港「境港」は、『国際海上コンテナ』『外航クルーズ（背後観光地クルーズ）』『原木』の3機能の拠点。
- ・日本海側拠点港「境港」が北東アジアゲートウェイとしての機能をより充実し、日本経済の再生や地域活性化に大きく貢献するためには、次の事業を早急に実施することが重要である。

中野地区 国際物流ターミナルの整備

大型貨物船に対応する係留施設の不足から喫水調整や沖待ちが生じ、また、取扱貨物量の増加によるふ頭用地の不足から、原木、リサイクル貨物等の横持ち運搬が必要となるなどコスト高となっている。一方、境港の背後には、高い国内シェアを誇る多くの木材関連企業が設備投資を活発に行っており、将来的にも合板の安定供給を支えるため、増産体制を整えている。このため、原木輸送船の大型化に対応する岸壁の確保と、その背後地と既存施設を有効活用したふ頭再編を実現するため、国際物流ターミナルの重点的な整備による早期完成が求められている。

竹内南地区 複合一貫輸送に対応した貨客船ターミナルの整備

日・韓・露を結ぶ我が国唯一の環日本海定期貨客船は貨物ふ頭に設置された臨時の旅客ターミナルを使用し、また大型クルーズ客船は原木などを取扱う岸壁に係留せざるを得ない状況にある。

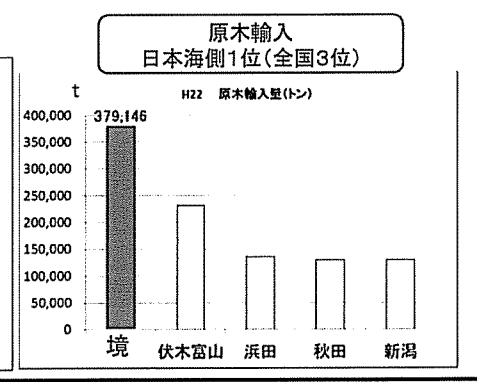
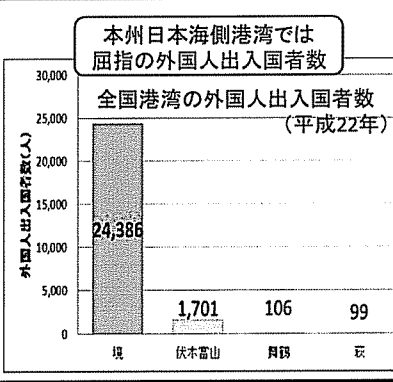
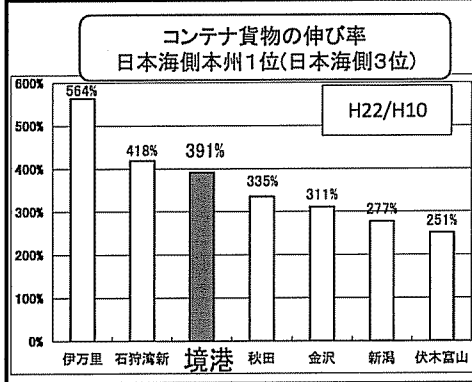
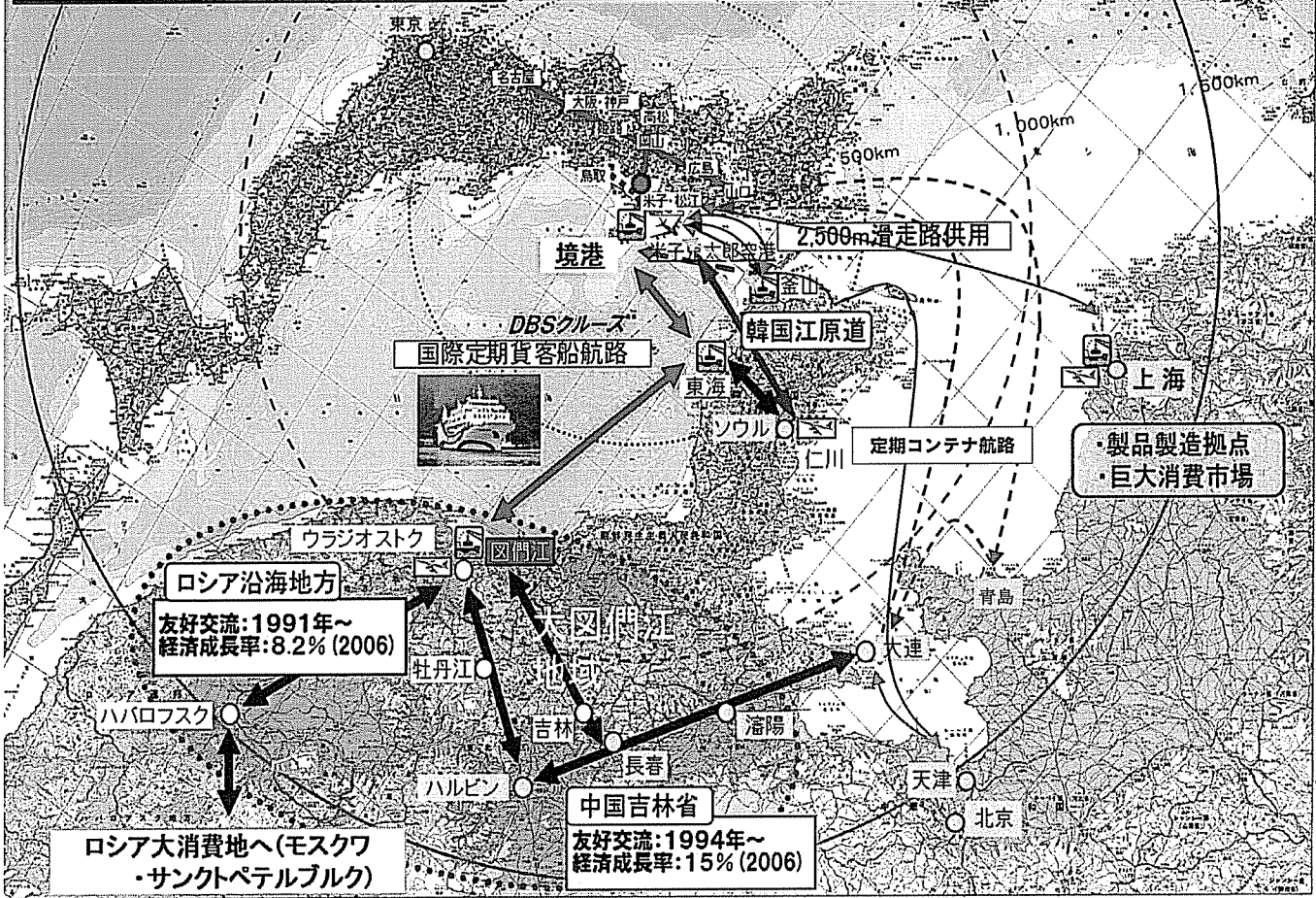
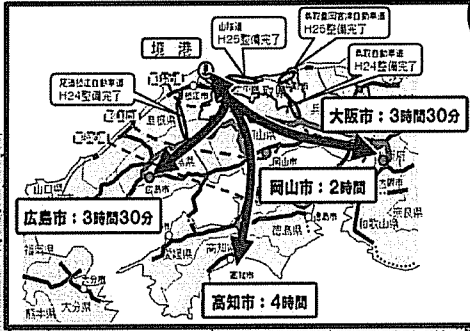
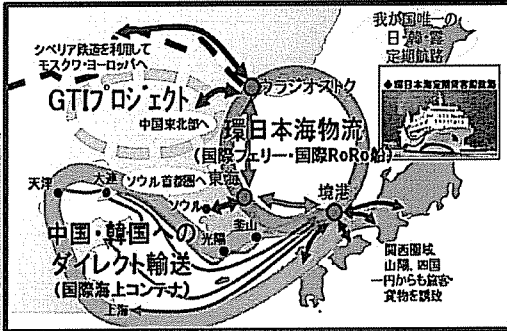
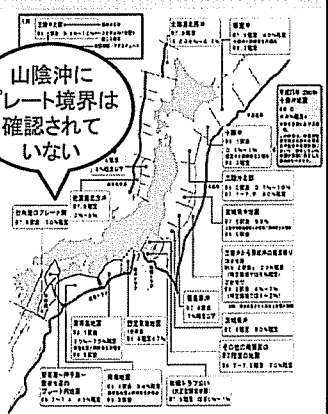
アジアクルーズターミナル協会(ACTA)への加盟により、本年には大型外航クルーズ客船が10回以上(国内含め20回程度)の寄港を決定しており、客船専用岸壁の確保が求められている。また、物流においても、昨年9月に国際定期RORO便が就航し、さらに環日本海定期貨客船は乗客・貨物とも順調に伸び、新たな輸送ルート・品目が拡大し、安定就航していることから、複合一貫輸送に対応した貨客船ターミナルの整備が急務となっている。

- ・安定就航の環日本海定期貨客船((GTI[大図們江イニシアチブ]の運輸プロジェクトに選定)や昨年9月23日(日本海側拠点港計画書を提出後)に就航した「境港」と「釜山」を結ぶ国際定期RORO便により、対岸諸国の活力を取り込むためにも、「境港」を『国際フェリー・国際RORO船』の日本海側拠点港に追加選定することが必要。

北東アジアゲートウェイとしての「境港」のポテンシャル

「対岸諸国と交易しやすい地理的優位性」、「地震津波に対する高い安全性」、「高まる陸上輸送の優位性」など、北東アジアゲートウェイ機能を備えた「境港」

主な海溝型地震の評価結果
(30年以内に地震が起こる確率)



この度(平成23年11月11日)、
「境港」が3機能の日本海側拠点港に選定！

- 国際海上コンテナ
- 外航クルーズ(背後観光地クルーズ)
- 原木

「境港」における最近のトピックス

国際シームレス物流システムの導入



受発注・通関・決済 一手に
H23.11.9
日本経済新聞

ヤマトHD子会社

米子に国際物流代行拠点

境港経由の輸出入支援
山陰流通センター本稼働
山陰流通センターは、米子に国際物流代行拠点を開設し、境港を経由して中国・韓国・台湾・東南アジアなどへの輸出入を支援する。また、通関・決済代行サービスも提供し、シームレスな物流を実現する。

境港の貿易増に期待 国際物流代行 拠点が稼働

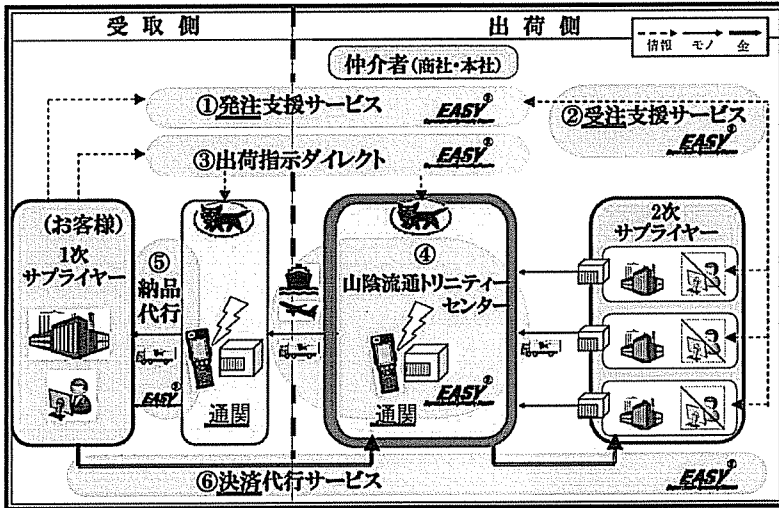


H24.1.13
本稼働

電子部品梱包に技術
山陰流通センターは、電子部品に特化した梱包技術を提供し、輸送中の損傷を防ぐ。また、通関・決済代行サービスも提供し、シームレスな物流を実現する。

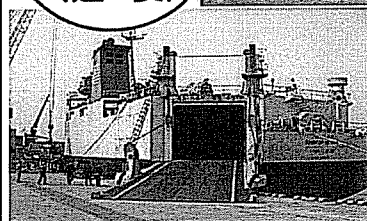
H24.1.14
山陰中央新報

ヤマトパッキングサービスは、境港で県の主要産業である電機・電子・機械・金型分野等の貨物集約、特殊梱包、情報・金融サービスの一体的な機能を提供する事業所を米子に設置。国際物流間における発注者と受注者をシームレスに繋ぐ総合流通基盤を展開。



境港と釜山を結ぶ 国際定期RORO航路が就航

H23.9.23
に就航し、
安定運航中
(週1便)



ロシアからチタン鉱石を輸入

H23. 12. 2、環日本海定期航路により、ロシア(アムール州)からチタン鉱石を輸入。また、中国黒龍江省からウラジオストク経由で割り箸を輸入。

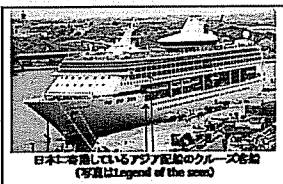


トライアル輸送により 新しい物ルートを確立

定期貨客船で初輸入
貨物増へ関係者期待
境港でセレモニー
ロシアからチタン鉱石・中国から割り箸
定期貨客船で初輸入
境港でセレモニー
関係者期待
貨物増へ

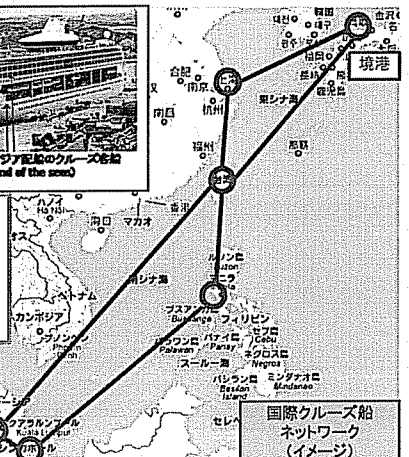
「アジア・クルーズ・ターミナル協会 (ACTA)」へ加盟(6カ国7港)

平成23年11月15日、シンガポールのクルーズフェリーターミナル運営会社である「シンガポールクルーズセンター(SCC)」が中心となって、「アジア・クルーズ・ターミナル協会(ACTA)」を設立



日本に寄港しているアジア航路のクルーズ船 (写真はLegend of the seas)

加盟各国を
結ぶアジア
クルーズが
多数寄港



平成24年 クラブ・ハーモニーが運航開始 境港に年10回寄港



韓国クルーズ船が、釜山を母港に運航を開始。寄港地に境港が選定され、5月から年10回寄港の予定。

船名	クラブ・ハーモニー
総トン数	26,000トン
船長	174m
乗客定員	1,000名

平成24年6月7日 境港にコスタ・ヴィクトリアが寄港

上海からの「コスタ・ヴィクトリア」クルーズツアーが決定！
(6月2日～12日の計11日間のツアー)

船名	コスタ・ヴィクトリア
総トン数	75,166トン
船長	252.9m
乗客定員	1,928名(最大2,464名)
乗組員	800名



重点整備

「原木」の日本海側拠点港の計画実現に必要な機能強化 中野地区 国際物流ターミナル整備事業

中野地区 国際物流ターミナル整備事業（直轄事業）

境港における外貨貨物（リサイクル、原木等）需要の増加や、船舶の大型化に対応した取扱能力の向上、及び既存岸壁を効率的に利用できるよう再編を図るため、水深12mの国際物流ターミナルの整備を行う。

境港の課題

①入港船舶の大型化、大水深岸壁の不足に伴う喫水調整や滞船の発生

喫水調整事例：大型岸壁不足による喫水調整状況

H23. 5. 25撮影



滞船事例：大型木材輸送船の荷役中の木材チップ船の沖待ち状況

H23. 5. 16撮影



②ふ頭用地の不足に伴う非効率な荷役



原木

混在する貨物

リサイクル貨物

昭和南地区 野積状況

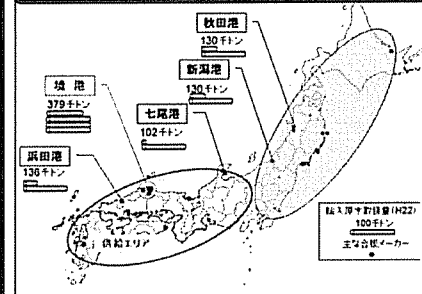
境港に野積された原木



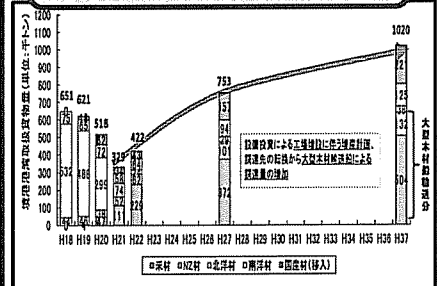
日本全体の経済発展に大きく貢献

- ・物流コスト削減による国際競争力強化
- ・環日本海における循環型社会の構築

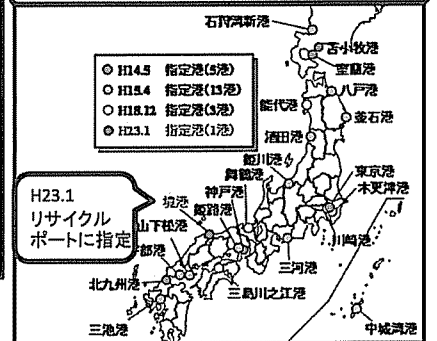
境港は西日本の合板製造拠点



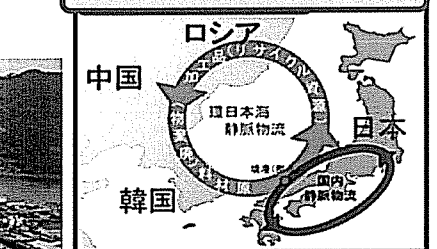
設備投資および大型原木船による調達量の増加



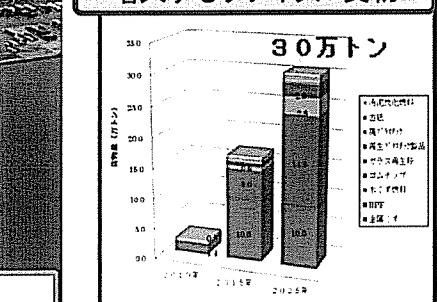
山陰で唯一のリサイクルポート



環日本海静脈物流ネットワーク



増大するリサイクル貨物



中野地区 国際物流ターミナル整備事業

要望

「外航クルーズ」の日本海側拠点港の計画実現に必要な機能強化 竹内南地区 複合一貫輸送に対応した 貨客船ターミナル整備事業

竹内南地区 複合一貫輸送に対応した貨客船ターミナル整備事業 (直轄事業)

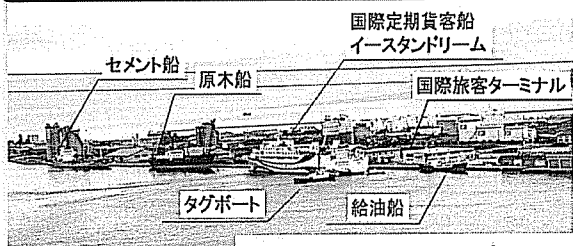
我国唯一の環日本海定期貨客船や国際クルーズ客船に対応し、かつ国内物流の拠点として機能する「複合一貫輸送に対応した貨客船ターミナル」の整備。

境港の課題

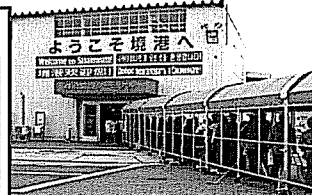
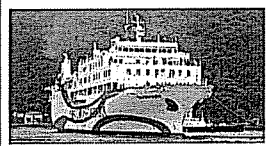
①客船が貨物岸壁を利用



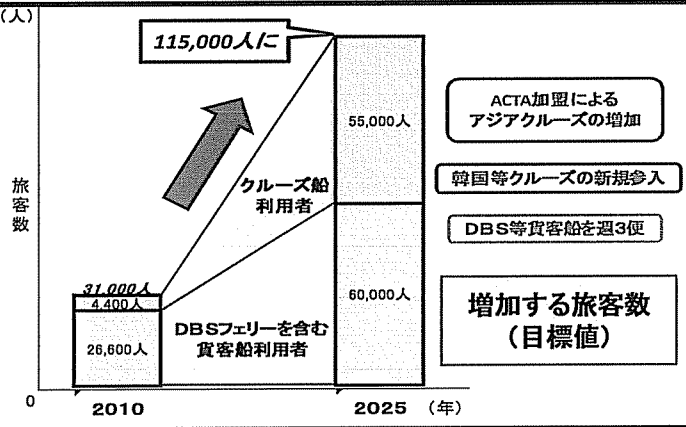
②仮設ターミナルによる暫定運用



◆環日本海定期貨客船航路



境港は外航クルーズの拠点



日本全体の経済発展に大きく貢献

- ・物流コスト削減による国際競争力強化
- ・観光立国の実現

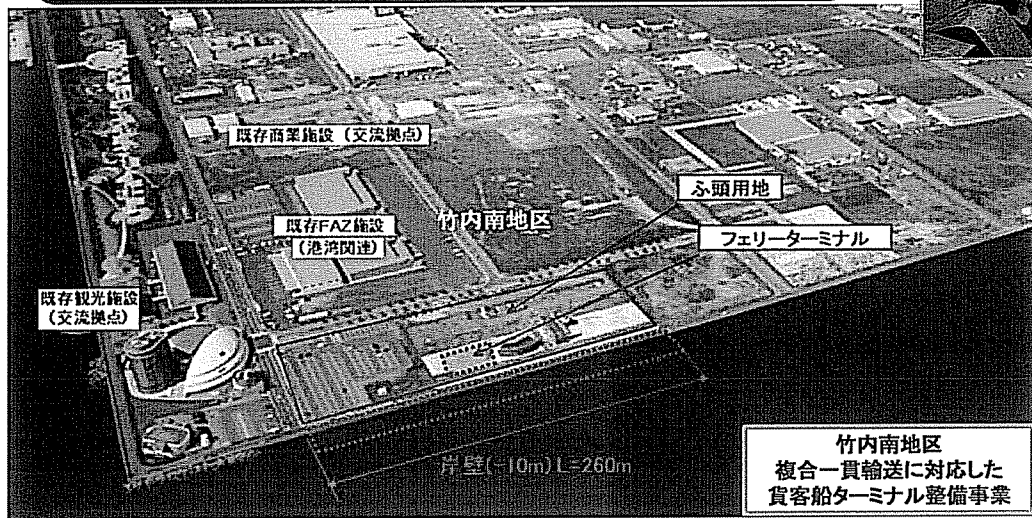
げげげの女房でおなじみ 水木しげるロード



全国の神様の集まる 出雲大社



世界ジオパークネットワーク加盟 山陰海岸ジオパーク



竹内南地区
複合一貫輸送に対応した
貨客船ターミナル整備事業

要望

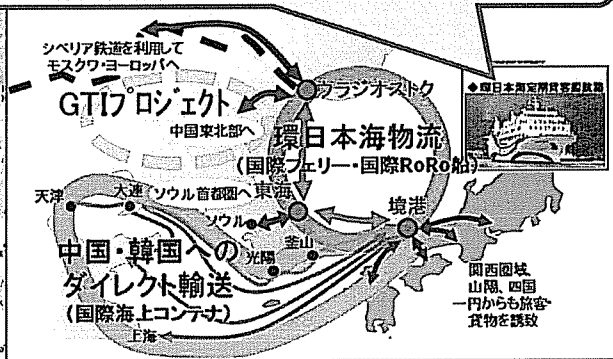
対岸への近接性を活かした環日本海物流ルートの維持・拡大
 による対岸諸国の活力の取込み
「国際フェリー・国際RORO船」日本海側拠点港に選定を！

『国際フェリー・国際RORO船』に関する日本海側港湾にあるべき姿

対岸諸国との近接性に加えて、今後の安定的な航路就航維持・拡充が見込める港湾に機能の集約を図り、必要な港湾機能の強化を図る。



- ・我が国唯一の日・韓・露国際定期貨客船が安定就航
- ・GTI運輸プロジェクトに位置づけられた唯一の定期航路



- モスクワと日本間との輸送時間短縮
- シベリア鉄道、ウラジオストク経由で輸送時間を大幅に短縮(35~40日→約25日)
- ウラジオストクを拠点としたロシア国内輸送
- 昨年は航路を利用して、ウラジオストクに鳥取産スイカ、メロン、二十世紀梨等を輸出。
- ウラジオストクだけでなく、サハリン等でも販売を実施。
- 日露間のビジネスサポート拠点設置
- ウラジオストクに「TOTTORI Trade Center」を開設し、日露間のビジネスマッチング等を支援

日本海側拠点港プレゼンテーション後に就航



境港と釜山を結ぶ国際定期RORO航路が就航

H23.9.23
 に就航し、
 安定的に
 運航中

H23. 12. 2
 ロシア(アムール州)から
 チタン鉱石を輸入
 (トライアル輸送による新規開拓)

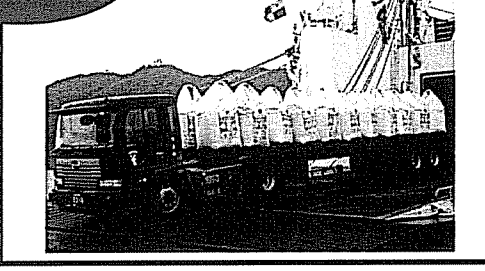


知事によるトップセールス
 (ウラジオストクで梨の試食販売会)

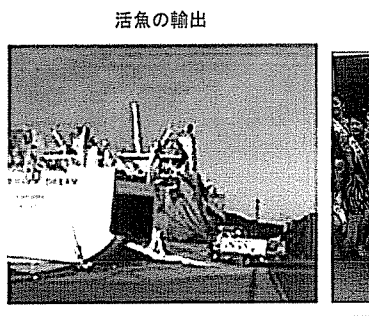


ウラジオストクにビジネスサポート拠点設置

新しい物流
 ルートを確立



松江大根島「牡丹」の輸出



活魚の輸出



江原産パプリカの輸入



スイカ・メロン・野菜をロシアへ輸出